

山崎中学校だより

令和8年2月2日 2月号

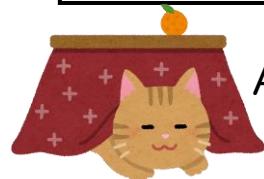
町田市立山崎中学校

校長 小平 千佐子

〒195-0074 町田市山崎町1445

TEL 042-793-1021

<https://machida.schoolweb.ne.jp/1320106>



AIの時代 私たちはどんな社会を目指すのか(3学期始業式 講話より)

校長 小平 千佐子

2026年新しい年がスタートしました。今年の冬は、比較的に暖かなで天気の良い日が多く気分も明るい新年の幕開けでしたね。

さて、心新たに迎えた元旦の朝、新しい1年のスタートを皆さんには、どのようなことを考えながら過ごしましたか。元旦の朝、何気なく新聞を広げた私は、その一面の記事に「あなたは人間ですか」と問いかかけられ、思わず引き込まれて読み進めていきました。それは、SNS上でAIによる投稿が増えるなど、情報空間で人間かAIか見分けがつかなくなる時代となってきた今、AIではない証明をするために目の虹彩を使って人間である証明をする試みが密かに行われているという記事でした。新たな1年の幕開けにとても考えさせられる内容だったので、今日はその情報を、皆さんにもぜひ聞いてもらいたいと思います。

その目の虹彩データを使い、人間だと証明する試みは「オープ」と呼ばれる端末をのぞき込み目の虹彩をよみとて、本物の人間だと「認証」されるとIDが発行されるというシステムだということです。さらに、その虹彩というものは年齢による変化がほぼなく、指紋や顔よりも本人の証しとして制度が高いものだそうです。

この構想を主導するのが、あの「Chat GPT」を開発したアメリカのオープンAIの最高責任者(CEO)で、人のように振舞える生成AIを世に広めたサム・アルトマンという人です。アルトマン氏は、この虹彩IDの取り組みを「ワールド(世界)」と名付け、昨年12月登録者を集めるイベントを行い、今こそAIと人間を「区別できる能力に真の価値がある」と強調し、人間だと証明できる社会インフラづくりを目指しているというのです。その「ワールド」のアプリには、チャットや電子決済とともに暗号資産(仮想通貨)の送金機能などを展開させているそうです。

実は、その「オープ」の端末機が世界で最も多く取り付けられている国は日本だということです。世界で稼働している約1千台のうち、約240台が日本にあり、そしてその半分がリラクゼーション施設に置かれています、登録時にもらえる仮想通貨で登録者はサービス券がもらえるしきけになっているのだということです。

東京の池袋の店舗では、2時間で約20人が「ちょっと怪しいと思ったけど、サービスが半額になるので」「利便性もあって全然いい」などと、あまり抵抗感もなく虹彩をスキャンしたということです。この個人情報漏洩を厳しく言われる時代において、なんと無防備な話だろうと考えさせられました。この情報は、欧米など世界5か所で虹彩画像をデジタルコードに変え保管されるということです。

もちろん、この話は世界全体でみればデータの取り扱いへの警戒心は強く、ドイツではEUの個人情報保護規則に違反するから削除命令を出し、タイやインドネシア、ケニア当局などは

停止命令を出している事態なのです。この登録は2023年に本格的に始められ、今や世界の登録者数は2025年12月の時点で約1800万人にのぼっていて、3.6秒に1人が「人間の証明」に加わっているという内容でした。

生成AI（人口知能）が私たちの生活の中に、急速に入り込んできていることは皆さんも感じていることだと思いますが、今、私たちを取り巻くこの世界はこのような背景があるということを私たちはよく理解しておかなければならぬと考えさせられました。

私たちがこれから生きていく時代は、ますます自ら情報を正しく得て判断をしていかなければならないのだと、気づいた時には何かに巻き込まれたりして、知らなかつては済まされないそんな時代に私たちは生きているということを自覚しないとなりません。アナログ世代として長く生きてきた私にとっては、今の世界はどこへ向かっているのだろうと時に不安になることがあります。

火や文字をあやつり文明を築いてきた歴史を持つ人類は、その後も蒸気機関車や電機などの技術を手に社会の課題を乗り越えてきました。今、AIが人の生活や仕事の在り方を変え、社会の仕組みも変えていく時代に向かっています。アルトマン氏は、2030年までには極めて強力なAIが実現すると話をしています。世界のAI企業が競うのは、人間並みの知能をもった「AGI」という汎用人工知能の実現なのだということです。無数のAIが、それぞれ意思決定して新たな発明を手掛けるようになれば「歴史上初めて、権力が人間から離れて何か別のものへと移っていく」と指摘されています。AIの時代は、国家ですら管理できない力と向き合う時代になりうるのであります。

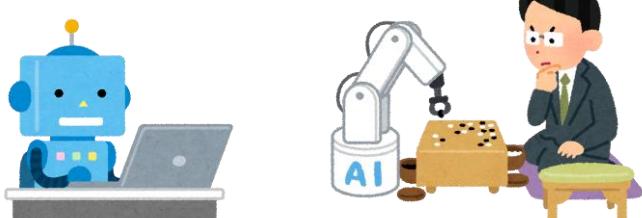
でも、進化はまだ着手したばかり、だからこそ私たちは何をAIに託し、何を託さず、そしてどんな社会を目指すのかその分岐点にいるのだということを考えたいと思います。

AIをはじめとする技術と人が共生する世界を、37年前に土郎正宗さんという漫画家が「攻殻機動隊」という作品で描いています。それは、近未来の日本にある架空の都市を舞台にサイボーグがAIやアンドロイドを駆使し、国家の危機に立ち向かうというものです。その土郎さんが、「人間を人間と決定づけるものは何か」という問い合わせに答えたインタビュー記事も載っていました。

「一般的には、高度な心的活動や感情、社会性、やさしさ等を人間らしいと評されることが多いと思いますが、愚かさや残虐性、浅ましさなどもまた人間らしさになります。人間は、いまだ弱く臆病ないきものもあるので、より刺激が強く危険にかかる情報、もめごとや扇動（行動を起こすようあおること）、虚偽情報や悪口などの方が、より速く広く伝わり、脳内に強く影響を及ぼす上、お金にも化けやすいものだと思います。だから、AIが人間の良い面をより強く学習し、より良いものになるように放任ではなくきちんとAIを子育てしないと超絶高性能な詐欺師や愉快犯になって、人間はそれに振り回されていくかもしれません」と思いました。

怖いのはAIではなく、AIを使って悪いことをしようとする人間の方なのではないか、だからこそ、人間社会自体が良くならないと、人間の諸活動や知見を統計的に学習しているAIも良いものには育たないのだということを伝えました。

私たちの未来は、人としてどう生きていくかをしっかり向きあい考える日々の営みの中にあることを忘れずに、新年の抱負を考える話題にしてほしいと思います。





1月のいろいろ



地域の絆を実感！あいさつキャンペーン

1月14日（火）～17日（土）に実施したあいさつキャンペーンは、七国山小学校の児童のみなさんや山崎高校の生徒のみなさん、保護者のみなさまが集まり、非常に活気ある活動となりました。

これほど大人数で、かつ地域の学校が校種を越えて一堂に会する機会は大変珍しく、朝の校門が爽やかな笑顔と声に包まれる貴重な時間となりました。世代を超えた交流を通じ、地域全体で子どもたちを見守る温かな絆を再確認できました。この繋がりの輪を、今後も大切に育んでいきたいと思います。



絆を深め、いざ本番へ！4校合同交流学習会（8組）



1月16日（金）、8組が交流学習会に参加しました。今回は山崎中・忠生中・堺中・小山中の4校が小山中に集結しました。

目的は、1月30日（木）に実施のスポーツ交流会に向けたバスケットボールの練習試合です。生徒たちは、日頃の授業で積み重ねてきた練習の成果を存分に発揮し、連係プレーや当日の動きを入念に確認しました。他校の仲間と切磋琢磨する中で、新たな課題と自信を見つけたようです。本番に向けて弾みのつく、実り多き一日となりました。（本番の様子は次号でお知らせします。）



伝統を支える若き力 「どんど焼き」ボランティア

地域の伝統行事「どんど焼き」に、本校生徒がボランティアとして参加しました。

昨年12月20日には、準備として重労働である「しの竹」や「大竹」の切り出し作業に汗を流し、1月10日の本番当日も運営に尽力しました。作業の手を動かしながら地域の方々と対話を重ねる中で、伝統を次世代へつなぐ重みと大切さを肌で感じる貴重な機会となりました。

地域の一員として主体的に貢献したみなさんの姿は、非常に頼もしいものでした。参加したみなさん、本当にお疲れ様でした。

生きた英語でつながる！2年生イングリッシュフェスタ

1月21日（水）、2年生を対象に「イングリッシュフェスタ」を開催しました。当日は7名のALTが来校し、自己紹介や学校行事の紹介など、多角的なテーマで英語による交流を深めました。

生徒たちは日頃の授業で培った語学力を存分に発揮し、ジェスチャーを交えながら積極的に話しかける姿が印象的でした。生の英語に触れ、自分の思いが伝わる喜びを実感した生徒たちの顔には、充実した笑顔が溢っていました。この経験が、国際理解への一步となることを期待しています。



シェア会を振り返って～ゆめのきより～

6月から始まった「わくわくプロジェクト」の集大成として、1月17日（土）に「やってみたい！」のシェア会を開催しました。前号で紹介した、各自が「やってみたい！」という思いで取り組んだ活動をもとに、自学自習で準備した発表資料は見事な出来栄えで、不安を口にしていた生徒も、質問に堂々と答える立派な姿を見せてくださいました。自発的な熱意が成長の原動力であることを改めて実感し、胸が熱くなる思いです。今回の経験を糧に、新たな夢へ一歩踏み出すみなさんの挑戦を、保護者のみなさまと共に全力で応援しています。



山中生の活躍



〔令和7年度 明るい選挙ポスターコンクール〕

佳作

大谷 俊介さん

工藤 乙葉さん

押田 柚芭さん

町田市立国際版画美術館 収蔵作品に本校生徒作品が選ばれました！

町田市立国際版画美術館では、毎年開催される中学校美術作品展において、出品作品の中から10点を選び、時代を反映する貴重な美術資料として収集しています。この度選定の結果、本校3年 竹内 夏実さんの作品「鉛筆画自画像」が収蔵作品として選ばれました。おめでとうございます！



☆2月の予定☆

I	日		11	水	建国記念の日	21	土	都立一次入試
2	月	都立推薦発表	12	木	一斉委員会	22	日	
3	火	移動教室(1)始	13	金	中央委員会 未来塾 学校運営協議会	23	月	天皇誕生日
4	水		14	土	選挙のため午後体育館使用不可	24	火	学年末考査
5	木	移動教室(1)終 復習確認テスト(2)	15	日	選挙ため全日体育館使用不可・部活動不可	25	水	学年末考査
6	金	午前授業(1) 未来塾	16	月		26	木	学年末考査
7	土	選挙のため午後体育館使用不可	17	火	心のアンケート 生徒会朝礼 いじめ防止授業	27	金	小学生体験入学 未来塾
8	日	選挙ため全日体育館使用不可・部活動不可	18	水	校外学習(8)	28	土	
9	月		19	木	避難訓練			
10	火	校外学習(2)	20	金	授業改革推進研修 職員会議 午前授業			



紙面に收まりきらなかった内容を「号外」として学校ホームページで公開しています。ぜひご覧ください♪